

第2期
いわて林業アカデミー
元気な若者の力で
岩手を森アゲろ！

1 はじめに

第2期いわて林業アカデミーは研修生が18名となり、益々岩手の林業を「森アゲ」ています。雨にも負けず、夏の暑さも負けず、仲間と共に林業を学んでいます。

2 安全に関する各種の資格取得

林業に限らず、安全は最優先です。始めに林業の仕事環境を学び、安全に配慮した服装や道具の使い方を覚えさせます。その後、チェーンソー、刈払機、高性能林業機械等の林業に必要な基本的な9つの資格を7月までに全員が取得しました。



伐木等機械の運転の業務に係る特別教育

3 上手くなるため練習練習！

資格を取得したからといって、すぐ上手くなるわけではありません。上手くなるためには繰り返し練習することが大事です。

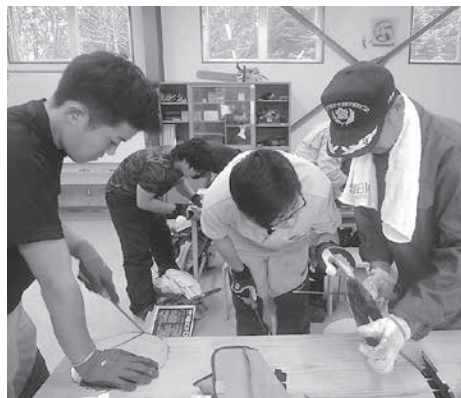


チェーンソー操作を練習する研修生

チェーンソー作業では、短い丸太を使用して正しい受け口、ツルづくりを練習します。受け口が正しい方向に向いているか、水平にきれいに切れているか、ツルが平行に作成できているか確認します。これができるようでは現場で木を伐ることは危険です。方向が全然違うぞ！ ツルを切っているぞ！ 講師の激が飛びます。

下刈作業では、始めは刈れますが

次第に切れ味が悪くなります。土や石を切つて刃こぼれするので目立てが必要となります。良い目立ては良い仕事につながりますので、いつも以上に真剣です。



刈刃の目立て講習

高性能林業機械の操作では、周囲確認や合図を徹底して指導します。大型機械や丸太との接触事故は大変危険です。周りに誰もいないか、安全な動作ができていないか、指差し呼称で確認します。

4 就業へ向けた就業体験研修

アカデミーは研修生の林業就業率100%を目標としています。そのため、県内林業事業者の協力のもと、夏、秋、冬に3日から最大10日間の就業体験研修を行っています。昨年度の第1期生15名は全員県内で林業

に就業しました。ほとんどの研修生がこの就業体験を通じて就業先を決めています。

7月の3日間の就業体験研修では県内11の林業事業体に研修生を受け入れていただきました。研修後は、「現場の生の声を聞くことができた。」「自分の目標を明確にできた。」などの感想がありました。第2期生の今後の成長に期待します。



就業体験研修での検知作業

5 おわりに

いわて林業アカデミーの研修状況は、公式Facebookページで公開中です。真面目あり、笑いあり、熱血ありの研修をぜひご覧ください！

林業技術センター研修部

019(697)1536